

11/30

境町がふるさと納税自治体連合表彰で優良事例を受賞

全国の賛同自治体で構成する「ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体連合」（事務局福井県）の優良事例表彰において、ふるさと納税を活用し、地域の活性化につなげた優れた取組事例として、境町の「S-Lab（坂花町）」で行っている新しい特産品の開発によって地域に新しい産業と雇用を生み出した経済・産業振興の取組が表彰されました。

授賞式は新型コロナウイルス感染症予防のためオンラインで行われ、橋本町長が参加しました。



S-Lab の取り組みが表彰されました

12/16

町内小中学校で税の仕組みを学ぶ「租税教室」を開催

古河税務署管内租税教育推進協議会では、児童生徒たちに納税の義務を正しく理解してもらうため、毎年町内小中学校で租税教室を開催しています。

12月16日（木）には、境小学校の6年生を対象に、役場税務課職員が講師となり、租税教室を実施し、税について学べるDVDの観賞や、税金に関するクイズ、1億円のレプリカを使用した重さ体験などが行われ、税の仕組みや使い道について学びました。



講話やクイズを通して、税について学びました



講師の話を聞く児童たち



一億円のレプリカを使用した重さ体験



境小6年 光山 樹くん

今回の租税教室を通して、税金が私たちの生活の様々なところに使われていることが分かりました。私たちの通う小学校も税金で建てられていて、もしも税金が無くなったら、自分でそのお金を払う必要があるの、とても大変だと感じました。

1/7

中前隆博駐アルゼンチン特命全権大使が境町を訪ね

中前隆博駐アルゼンチン特命全権大使が境町を訪れ、アルゼンチンと交流がある長田小学校で、橋本町長や倉持町議会議長と懇談を行いました。

また、境町では平成28年度から4年連続で町内小中学校の児童をアルゼンチンに派遣する交流事業を行っています。今回の懇談には、令和元年度アルゼンチン派遣団の子どもたちも参加し、中前大使と当時の思い出などを振り返りました。



国旗を手に中前隆博駐アルゼンチン特命全権大使を歓迎しました



12/24

「境町地域ブランド販売拠点施設」落成式

境町の特産品の加工・販売や、農畜産物の情報を発信する施設「境町地域ブランド販売拠点施設」（西泉田）の落成式が行われました。

施設内には、常陸牛や梅山豚、旬の野菜など境町の特産品を販売する物販店舗と、焼肉店「wo-29 Butchers」（おにくブッチャーズ）がオープンし、すぐ隣にある境町サッカー場や境町アーバンスポーツパークなどのスポーツ施設と合わせて、県内外から多くの人が訪れる施設になると期待が寄せられています。



境町に本格的な焼肉店がオープンしました



11/18

境町がハワイ州ホノルル市と姉妹都市になりました



令和3年11月18日（木）、境町はハワイ州ホノルル市と姉妹都市協定を締結しました。境町では、平成30年9月にハワイ州ホノルル市と友好都市協定を締結しています。利根川大花火大会にホノルル市の関係者を招いたり、ホノルルの小学生と境の小学生が野球の試合を行うなど交流を深めてきたことで、この度の姉妹都市協定締結につながりました。

コロナ禍のため、協定はオンラインにて行われ、ホノルル市のブランジャルディ市長からは「コロナが落ち着いたら直接交流を深めたい」という力強いコメントを頂きました。



オンラインにて姉妹都市協定を締結しました



11/27

アルゼンチンの日の集い&オリンピック功労者表彰式

長田小学校において、アルゼンチン共和国特命全権大使ギジェルモ・ハント夫妻をお招きし、「アルゼンチンの日の集い」が開催されました。

長田小学校は1935年からアルゼンチン共和国大使館と交流を続けており、平成元年に、はじめて「第1回アルゼンチンの日の集い」を開催しました。

約33年間続く催しですが、昨年はコロナ禍で開催を中止しました。今回はコロナ対策を行って実施し、児童が歌や演奏など様々なアトラクションで大使夫妻をもてなしました。

また、「ホストタウン功労者表彰式」が併せて行われ、事前キャンペーンボランティア委員長の中村浩保さんや、アルゼンチン交流のきっかけとなった関宿藩士の子孫である野本勇作さんに、9月28日（火）にオンラインで行われた功労者表彰式の感謝状が橋本町長より手渡されました。



感謝状を手にする中村浩保さん（左）



感謝状を手にする野本勇作さん（左）



ハント夫妻を熱烈歓迎！児童の皆さんが様々なアトラクションを披露しました